

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会（第 27 回）  
議事要旨（案）

1 日時

平成 28 年 6 月 24 日（金） 10 時 00 分～ 11 時 00 分

2 場所

金融庁 13 階 1320 会議室

3 出席者（敬称略）

（1）構成員

多氣昌生（主査）、雨宮不二雄、曾根秀昭、平和昌、田島公博、田中謙治、野島俊雄、長谷山美紀、林亮司、堀和行、山崎健一、山下洋治、渡邊聡一

（2）関係者

井上正弘、尾崎覚、小田明、実井仁、徳田正満、平伴喜光、前川恭範、松本泰

（3）事務局

杉野勲（電波環境課長）、澤邊正彦（電波利用環境専門官）、谷口智哉（電波監視官）、野村惇哉（電磁障害係長）、小栗朋之（電磁障害係員）

4 議事

（1）前回議事要旨について

前回の議事要旨について、さらに修正意見があれば 7 月 1 日（金）までに事務局あてに連絡することとして承認された。

（2）電波利用環境委員会報告（案）「無線妨害波及びイミュニティ測定装置の技術的条件 第 1 部 第 1 編：無線妨害波及びイミュニティの測定装置 ー測定用受信機ー」及び「無線妨害波及びイミュニティ測定装置の技術的条件 第 1 部 第 4 編：無線妨害波及びイミュニティの測定装置 ー放射妨害波測定用のアンテナと試験場ー」について

議事について資料 26-2 から参考資料 26-1 に基づき田島委員から説明がなされた。

田島委員の説明に対する質疑応答の概要は以下のとおり。

- ・ CISPR16-1-1 の国際規格が発行されてから答申に至るまで 6 年かかっているが、何か理由はあるのか。  
→ CISPR16-1-4 が発行されるタイミングで答申（案）の検討を始めたこと及び、内容が多く時間がかかってしまったことが主な理由である。
- ・ CISPR16-1-1 には TEM セルの仕様が規定されているが、エミッション測定の際に TEM セルでどのように使用し測定するのか。

→JIS61000-4-2 に規定されているところ、TEM セル内に EUT を配置させ回転させることにより 12 地点でのエミッションをはかる方法をとっている。

・自由空間で測定した場合と同じくらいの結果になるのか。

→10dB くらいの差があるとの報告が出ている。TEM セルでのエミッション測定は大変難しいものである。TEM セルの使用については各製品委員会が決めることになる。

## 5 今後の予定

事務局から次回の委員会については、主査と相談の上、別途日程調整をする旨、連絡があった。

### 【配付資料】

- 資料 27-1 電波利用環境委員会（第 26 回）議事要旨（案）
- 資料 27-2 電波利用環境委員会報告（案）「無線妨害波及びイミュニティ測定装置の技術的条件の測第 1 部 第 1 編：無線妨害波及びイミュニティの測定装置 ー測定用受信機ー」及び「無線妨害波及びイミュニティ測定装置の技術的条件 第 1 部 第 4 編：無線妨害波及びイミュニティの測定装置 ー放射妨害波測定用のアンテナと試験場ー」
- 資料 27-3 電波利用環境委員会報告（案）概要